

2017年度 教育学部学生調査 項目表			1年	2年	3年	4年					
			前	後	前	後	前	後	前	後	
学習	基礎的な学習 方略	a1	分からない単語や用語は調べる	○	○						
		a2	大事な話はメモやノートを取りながら聞く	○	○						
		a18	内容を覚えるため、ノートを何度も書き写しながら勉強を進める	○	○						
	モニタリング方 略	p1	ある物事について勉強するときには、他の様々なものと結びつけながら考える	○	○						○
		p2	勉強するときは、自分が既に知っているものと結びつけながら行う	○	○						○
		a14	試験勉強をするときは、良く分かっているところと、そうでないところを探しながら勉強する	○	○						○
	プランニング方 略	a15	何を求められているのか考えてから課題をする	○	○						○
		p3	1日にどれくらい学習するか考えてから取り組む	○	○						○
		p4	勉強は時間を決めてする	○	○						○
	学習に対する 自己効力感	a12	いつも自分にあった勉強のやり方を考えながら勉強する	○	○						○
		a13	良い成績を取る自信がある		○						
		a19	授業内容を理解していく自信がある		○						
	汎用的スキル	a6	自分の勉強方法に自信がある	○	○						
		a4	筋道を立てて考えることができる		○	○					
		a5	自分の意見をうまく発信することができる		○	○	○			○	
a3		パソコンを上手にを使って情報の収集・加工・伝達ができる		○	○						
a7		必要な情報は自分で収集できる		○	○						
セルフ・マネ ジメント	セルフ・マネ ジメント・スキ ル	a11	互いに協力して問題を解決しようとする		○					○	
		c1	目標を立てて物事に取り組む	○	○					○	
		c2	すべきことは優先順位をつけて実行できる	○	○	○		○	○	○	
		c3	計画的に時間を使うことができる	○	○	○		○	○	○	
		c4	お金は計画的に使う	○	○						
	コーピング・ス キル	c5	物事の取りかかりが遅い(R)	○							○
		d3	体調管理がきちんとできる	○	○						○
		c8	精神的なストレスの自分なりの解消法がある	○		○		○		○	
		c6	新たな環境に適応し、馴染むことができる	○	○						○
		c11	臨機応変に計画を変更できる	○		○		○			○
		睡眠問題	d6	朝起きられず、用事や授業に行けないことがある	○	○		○		○	
d5	寝ても疲れが取れない		○	○		○		○			
落ち込みのサイン	e1	何となく不安になることが多い	○	○		○		○			
	e2	気持ちに大きな波がある	○	○		○		○			
展望	大学生生活の展 望	b1	これからの4年間で学びたいことがはっきりしている(3年間で学びたいことがはっきりしてきた)	○							
		b2	これからの4年間の学びの準備ができています	○							
		b3	在学中に学びたいことがはっきりしている		○	○		○		○	
		b4	在学中にすべきことの計画ができています		○	○		○		○	
	キャリア展望	f1	将来の進路(キャリア)について見通しがある	○	○		○		○		
進路選択に対する 自己効力感	q1	もし望んでいた職業に就けなかった場合、それにうまく対処することができる								○	
	q2	望んでいた職業が、自分の考えていたものと異なっていた場合、もう一度検討し直すことができる				○		○		○	
	q3	いくつかの職業に興味を持っている		○	○		○				
	q4	自分の興味・能力に合うと思われる職業を選ぶことができる				○					
	q5	現在考えているいくつかの職業のなかから、一つの職業に絞り込むことができる						○			
	q6	自分が従事したい職業(職種)の仕事内容を調べることができる		○	○						
	q9	進路・就職に関しての相談や情報収集をすることができる学内の窓口を知っている					○				
	q8	自分の職業選択に必要な情報を得るために、インターネット、新聞、テレビなどのマスメディアを利用することができる								○	
問題との距離を取る 態度	o1	生活の中で悩みがあるときは、距離をおいてみるようにしている		○	○		○		○		
	o2	何か悩み事があるときには、ちょっとやめて、間をとれる		○	○		○		○		
	o3	生活の中で悩みがあるときには、考えすぎないようにしている		○	○		○		○		
	o4	自分を責めることが少ない		○	○		○		○		
	o5	「こう思ふべきだ」と自分に強制することが少ない		○	○		○		○		
イラショナル・ビリー フ尺度	n1	私は欠点のない人間でなければならない	○	○		○		○			
	n3	私は常に業績を上げなければならない	○	○		○		○			
	n4	物事は完全無欠に成し遂げなければならない	○	○		○		○			
	n6	私はいつも、皆に好かれたいといけない	○	○		○		○			
	n7	私は常に、周りから高く評価されたいといけない	○	○		○		○			
	(未分類)	c13	朝ご飯は毎朝きちんと食べている		○	○					○
		g6	困ったときに相談できる人がいる	○	○		○		○		
g2		自分が好きである	○	○		○		○			
g1		人に左右されず、自分の考えで行動できる								○	
g3		なにかにつけて、他人と比べることがよくある								○	
g5		人に判断をゆだねることが多い								○	
f2		大学の勉強は自分の将来に役立つ	○	○		○					

		1年	2年	3年	4年					
		前	後	前	後					
時間の使い方	i1	PCや携帯・スマートフォン、その他ゲーム機器でゲームをする	○	○	○	○				
	i2	授業の課題や宿題に取り組んだり、準備学習、復習をする	○	○	○	○				
	i3	授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする	○	○	○	○				
	i4	部活動や同好会、サークルに参加する	○	○	○	○				
	i5	大学外でアルバイトや仕事をする	○	○	○	○				
	i6	読書をする(マンガ・雑誌を除く)	○	○	○	○				
	i7	LINEやブログなどSNSで友人と交流する				○				
大学適応感	i1	学習面で、うまくいっている	○	○	○					
	i2	学科の学びは、自分の興味・関心に合っている	○	○	○					
	i3	大学の中にホッとできる場所がある	○	○	○					
	i4	学校に来たら必ず誰かと話をする	○	○	○					
	i5	対人関係で、うまくいっている	○	○	○					
	i6	創立者の著作や講演を学びたいと思う	○	○	○					
	i7	創立の精神を学び、実生活に生かそうとしている	○	○	○					
	i8	授業を受けたい先生が学部にいる		○						
社会人コンピテンシー	j1	学内外の行事やボランティアなど、様々な活動に積極的に参加する方だ			○					
	j2	課題の完成に十分な時間と労力をかける方だ			○					
	j3	学期末などの試験準備には十分な時間と労力をかける方だ			○					
	j4	いやなことがあっても、気持ちを切り替えて、すべき課題に取り掛かれる			○					
	j5	活動するときは、何のためにそれをやるのかを考える方だ			○					
	j6	相手の話を最後まで、じっくり聴く方だ			○					
	j7	どのような言い方をすれば相手に受け入れてもらえるかを考える方だ			○					
	j8	話し合いの場でみんなの意見をまとめるように働きかける方だ			○					
	j9	作品や文章を作成するときには、独創性を重視する方だ			○					
	j10	旅行に行く前に、自分でいろいろな情報を収集して計画する方だ			○					
	j11	自分が考えたことを、筋道をたてて、他者に説明できる			○					
	j12	社会のマナーを理解し、生活の中で実行している			○					
	j13	活動するときには、計画通りに実行する方だ			○					
	j14	周囲の人々や物事の間接関係を理解する方だ			○					
	j15	活動をするときは現状を分析し、課題を明らかにするのが好きだ			○					
学部GPの影響	h1	外国語の習得に意欲がある	○	○						
	h2	英語の勉強に自信がある	○	○						
	h3	国際的な出来事に關心がある	○	○						
	h4	異なる文化を理解し、尊重する意欲がある	○	○						
	h5	外国語を用いてコミュニケーションをする意欲がある	○	○						
学士課程のアウトカム	m1	異文化の人々に関する知識			○					
	m2	人類の文化、社会と自然に関する知識(いわゆる一般的な教養)			○					
	m3	人類の平和や幸福について自ら考える力			○					
	m4	日本の文化・伝統に関する理解			○					
	m5	日本語を用いて自分の意見をわかりやすく書く力			○					
	m6	日本語を用いて文章の要点を的確に読み取る力			○					
	m7	外国語を用いてコミュニケーションをする力(読む、書く、聞く、話す)			○					
	m8	多面的に分析し、考える力			○					
	m9	多様な情報を収集・分析する力			○					
	m10	情報や知識を論理的に分析し、活用する力			○					
	m11	問題解決に必要な情報を収集し、その問題を解決する力			○					
	m12	設定した目標・計画に向けて、確実に行動する力			○					
	m13	他者と協調・協働して行動する力			○					
	m14	自己の良心と社会のルールや規範に従って行動する力			○					
	m15	社会の一員としての意識を持ち、社会のために積極的に関与する力			○					
	m16	卒業後も自ら学び続けることのできる習慣			○					
	m17	これまでに学んだ知識や経験を結びつけ総合的に活用する力			○					
	m18	何のために学ぶのかを問う習慣			○					
	m19	書き言葉と話し言葉を使い分ける			○					
	m20	論理的に一貫した話ができる			○					
	m21	問題の本質を見つける力			○					
学部のアウトカム	k1	入学から今までに、複数の学問的視点(たとえば教育学や心理学など)から、教育について学ぶ機会がありましたか?				○				
	k2	授業を通じて教育の諸事象を特定の視点から深く考える経験はどの程度ありましたか?				○				
	k3	授業を通じて理論的思考力を修養する機会はどの程度ありましたか?				○				
	k4	授業で学んだことを活用し実践力を磨く機会はどの程度ありましたか?				○				
	k5	授業以外(たとえばボランティアやクラブ活動など)で教育の諸事象を特定の視点から深く考える経験はどの程度ありましたか?				○				
	k6	基礎能力と現場対応力の両面について鍛錬する機会は、どの程度ありましたか?				○				
	k7	学校現場で力を発揮できる資質を磨く機会はどの程度ありましたか?				○				
	k8	「教職に関する科目」と「教科に関する科目」の違いを認識できましたか?				○				
	k9	「人間教育」を実践する教師になるための土台となる知識や技能を身につける機会はどの程度ありましたか?				○				
		○	40	32	30	39	36	41	27	35